

マンガ 日本の古典 全32巻

読書感想文

2020年3月1日

1. 本書を読む目的

日本人は自国の事を知らな過ぎる、歴史を知らな過ぎる、優れた古典があるのに読まな過ぎる。いろいろな書物の日本人論の中でこの問題点が必ず出てくる。

特に日本の若者が日本民族の神話や日本建国の歴史を学び、日本的価値観を共有した時、日本は本来の姿を取り戻すことができるだろうとまで言われている。

小生、歴史はたいへん興味があって、1年かけて題材を神奈川におき、弥生時代から近未来迄ゆかりの場所を徒歩で訪ね、現地現物調査&考察をしてきた。

はて、ここで古典となるとほとんど知らない自分に気づく。

今般、小生にとっての人生の移行期間&充填期間のまとまった時間を使って、本書を読むことにした。言うまでもなく、古典文学は我々の祖先の考え方や感じ方を学ばさせてくれる。今回は教養として概要を知ることが目的とし、今後の指南書としたい。評価の高い“中央公論新社 マンガ日本の古典全32巻”を選んだ。

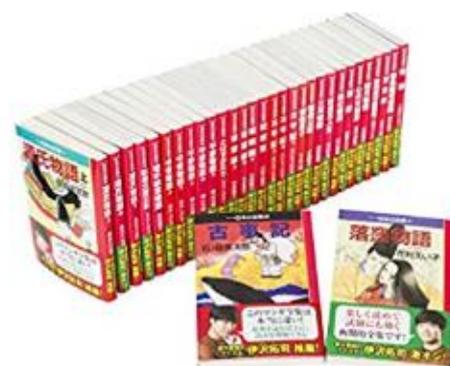
2. 読み方

1月20日～2月29日を読書期間とし、毎日1冊絶対読む日課とした。

予測は1時間/冊のはずが、思いのほか内容が濃く、実際2時間/冊以上掛かった。

32巻、毎日読み続けるのは結構たいへんであった。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 古事記 石ノ森章太郎 | 22 信長公記 小島剛夕 |
| 2 落窪物語 花村えい子 | 23 三河物語 安彦良和 |
| 3 4 5 源氏物語 長谷川法世 | 24 好色五人女 牧美也子 |
| 6 和泉式部日記 いがらしゆみこ | 25 奥の細道 矢口高雄 |
| 7 堤中納言物語 坂田靖子 | 26 葉隠 黒鉄ヒロシ |
| 8 9 今昔物語 水木しげる | 27 心中天網島 里中満智子 |
| 10 11 12 平家物語 横山光輝 | 28 雨月物語 木原敏江 |
| 13 とはづがたり いがらしゆみこ | 29 東海道中膝栗毛 土田よしこ |
| 14 15 16 吾妻鏡 竹宮恵子 | 30 浮世床 古谷三敏 |
| 17 徒然草 パロン吉元 | 31 春色梅児誉美 酒井美羽 |
| 18 19 20 太平記 さいとう・たかを | 32 怪談 つのだじろう |
| 21 御伽草紙 やまだ紫 | |



3. 読書感想

古典文学と一言で言っても、ひとつひとつの物語が持つ個性は千差万別であった。合わせて、今回のマンガは日本の一流漫画家(石ノ森章太郎、水木しげる、さいとう・たかを、里中満智子、黒鉄ヒロシ、他)が描いており、ストーリーや描写は漫画家の作風に大きく左右されていた。よって詳細内容を語るには本書1冊読んだだけでは十分でなく、原文を読む必要がある。今後の課題としたい。

今回概略、全体を通してのキーワードは、天皇、出家、修行の旅、和歌、戦、権力争い、不倫・浮気・性愛、などであった。

特記事項として32巻読み終わった時、上記最後項目がほとんどを占めると感じられた。古事記でさえ然りであった。

本件、“日本の古典はエ●が九割”という本を通読したが全く同じことを言っている。是非、注目していただきたい。

結果的におかしなことになってしまったが、小生、今回の古典文学から我々の祖先の考え方や感じ方を十分に学ばせてもらった。